

東京都  
慢性期医療  
協会 報告

# 都慢協レポート

[発行所]  
一般社団法人  
東京都慢性期医療協会  
〒193-0942 東京都八王子市  
栢田町583-15 永生病院内  
Tel : 042 (666) 3312  
Fax : 042 (673) 6552  
[発行人] 進藤 晃

## 会員の皆様と情報共有し、有効な対策を講じ ウイルスとの戦いにベストを尽くす1年に

東京都慢性期医療協会会長 進藤晃

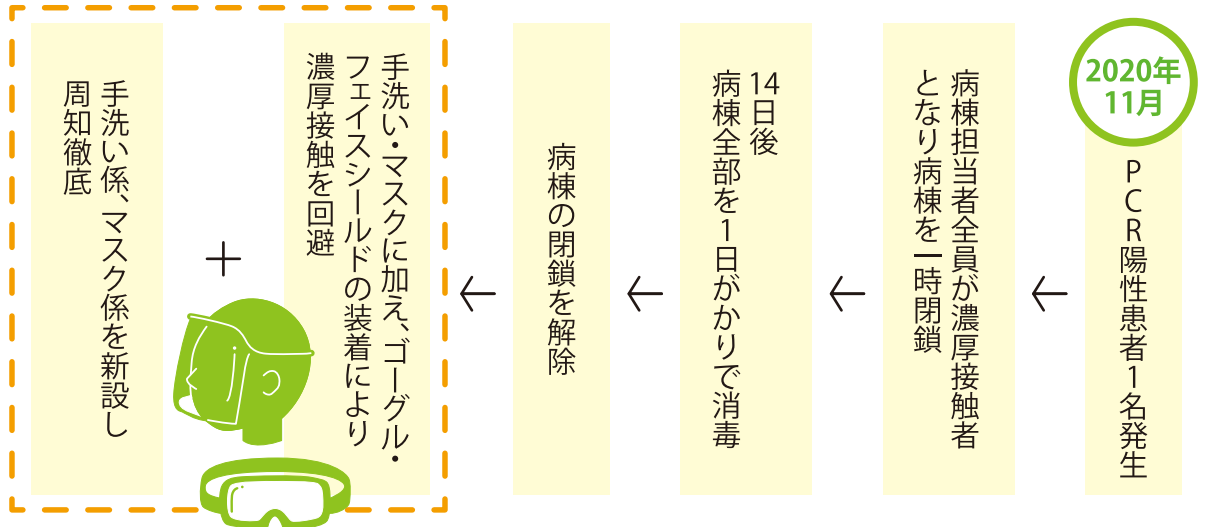


2020年度 東京都慢性期医療協会の活動はコロナウイルスの蔓延により、ほとんど行う事が出来ませんでした、申し訳ございません。一方で理事会や事例発表会はリモートで行うなど従来では考えつかなかったインターネットの利用が始まり新たな時代になったと感じています。皆様の病院でコロナウイルス対策はいかがでしょうか。私が運営している大久野病院では11月にPCR陽性の入院患者様が発生しました。転院直前に37度代の微熱があった様ですが、転院時には平熱だったのでコロナを全く疑いませんでした。その後1週間当院の病棟で過ごされるのですが、重度の認知症で徘徊があり気に入らないと人に向かって唾液を飛ばすという非常に感染しやすい環境でした。陽性と判明してからは西多摩保健所のご指導を頂き、入院されている患者様全員と接触があった退院後の患者様と病棟担当全職員・医師が濃厚接触者となり病棟を一時的に閉鎖いたしました。幸いなことに院内感染は発生せず14日後に閉鎖を解除いたしました。解除するにも1病棟全部を消毒する必要があり全職員で丸1日かけて行い大騒動となりました。この経験から一度コロナ陽性者が発生すると収入の減

少と大量に物資を必要とし残業なども増えるので支出が増加します。経営に打撃となることが推察出来ますでしょうか。コロナウイルス対策は侵入阻止も重要ですが、侵入を阻止するだけでは無く侵入しても安全に他に感染させない対策が重要だと認識しました。従来当院では手洗いとマスクの徹底を行っていました。結果的に院内感染は発生いたしませんでしたが濃厚接触者となってしまい打撃を受けましたので、新たな対策としてゴーグルかフェイスシールドの装着による目の保護を付け加えました。これによって今回の様なケースであっても濃厚接触の定義から外れる可能性があります。濃厚接触から外れれば病棟を機能させることが可能です。この差は非常に大きいと考えます。手洗い・マスクの装着に関する周知徹底方法として、手洗い係・マスク係を病棟内の役職者以外が持ち回りで担当し、手洗い・マスクが十分ではない人を注意してもらいました。これによって自分が行わなければ人を注意できないという効果があったと感じました。当院の経験を記載いたしました。少しでも参考になれば幸いです。まだまだコロナウイルスとの戦いは続きます。東京都慢性期医療協会でも可能な限り情報提供と行政への働きかけを行ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 大久野病院における新型コロナウイルスへの対応

強化  
ウイルスの侵入を防ぐだけでなく  
ウイルスの侵入を前提とした対策を







## 「東京慢性期医療協会」新聞

患者と家族を繋ぐ医療者の役割 ～面会制限から予約面会の実際～	医療法人社団 回心会 ロイヤル病院	小西紀江
落歯による誤飲発生予防の取り組み (キーワード) 定期歯列チェック 残存歯のぐらつき 歯肉の異常	医療法人社団 回心会 ロイヤル病院	田中のぞみ・並木弘子
「嚥下障害のある患者の食べる力を取り戻す為のアプローチ」	社会福祉法人信愛報恩会 信愛病院	佐藤美香
経管栄養チューブのトラブル減少への試み ～ケアワーカーと共に患者の観察を行ってみて～	社会福祉法人信愛報恩会 信愛病院	古旗仁美
運動失調を呈する患者の食事自力摂取獲得に向けた取り組み	医療法人永生会 永生病院	出雲耕生
発症 23 年経過した 30 代女性に対する ボツリヌス療法・作業療法の効果と生活への影響	医療法人財団利定会 大久野病院	藤戸郁子
塞栓性脳梗塞を発症した後、肺炎となり状態が悪化した 患者様に対し病棟の同期看護師と連携し、積極的な 呼吸理学療法を行い症状が軽快した症例	医療法人青葉会 小平中央 リハビリテーション病院	佐藤優莉
自宅にて褥瘡が多発した患者のセルフケア能力向上のため の支援～自宅退院するために行動変容を進める関わり～	小平中央リハビリテーション病院	池田夏希
介護職員に求められる食事支援技術向上を目指した ICF 分析の活用	小平中央リハビリテーション病院	細越雅俊
神経系難病を有する患者とご家族への関わり ～人工呼吸器離脱と退院支援～	医療法人社団康明会 康明会病院	小林大介
インシデント・アクシデントをグラフで見える化 自動グラフ化機能付入力シートの試作と運用について	京浜会 京浜病院	小川潤
ピクトグラムを用いたベッドサイドの表示 介助留意点の明瞭化への取り組み	医療法人社団愛育会 愛和病院	西村亮介
抑うつ状態で入院された症例との関りを通して	医療法人永寿会 陵北病院	畠山昌弘
不適切なケアへの取り組み ～ケアの質向上・優しいケアを目指して～	医療法人社団明生会 セントラル病院	富永菜穂美
患者さんが望んだ終末期の迎え方(緩和ケアでの ACP)	社会福祉法人 信愛報恩会 信愛病院	渡邊一江・山地ひろみ
職員の能力開発を目的とした回復期リハビリテーション 病棟における退院後電話調査の取り組み	医療法人社団永生会 永生病院	佐々木麻意
24 時間身体拘束実施患者の拘束解除への取り組み ～スタッフの意識変容と個別性を重視したケアを通して～	医療法人社団回心会 回心堂病院	川上洋子



一般社団法人  
**東京都慢性期医療協会** 事務局

〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15  
TEL. 042-666-3312 FAX. 042-673-6552

都慢協レポートのバックナンバーはホームページより  
ご覧いただけます。PC・スマートフォン・タブレット →  
用QRコードです。http://tmik.or.jp

